



知床科学委員会 しんぶん

河川工作物 アドバイザー会議 No.21



「河川工作物アドバイザー会議」では、災害から生活を守りながらサケ類が遡上できるように、各専門家が行政機関に対して、ダムの改良工事やモニタリング等について科学的視点から助言をしています。しんぶんでは、その活動についての情報をお知らせします。

今回の 会議

令和3年は、新型コロナウイルス感染症対策を考慮して、室内会議をオンライン会議にて8月26日に実施し、現地検討会を10月18日～19日に羅臼町、斜里町で開催しました。

オンライン会議で話し合った内容について

1 第44回世界遺産委員会決議の対応について

北海道森林管理局から、世界遺産委員会におけるIUCNの勧告を踏まえた知床の保全状況に係る決議案が今年7月に採択され、今後、保全状況報告を作成して回答することが報告されました。

2 第2期長期モニタリングについて

令和4年から第2期長期モニタリング計画が始まります。モニタリング項目は①河川内におけるサケ類の遡上数・産卵場所及び産卵床数の調査 ②知床の淡水魚類を特徴付けるオシロココマの生息状況（外来種侵入状況も含む）の二つで、①に関しては稚魚降下数調査を調査項目に組み込む等が北海道森林管理局から説明され、これらの調査手法について、意見が交わされました。

3 河川工作物について

ルシャ川第2ダム切下げ工事の終了、サケ類の遡上環境改善のため第1ダム前提の一部切下げと巨石組みの実施、及びサシルイ川の第1ダムの再改良案について北海道より報告されました。

また、北海道森林管理局より、オッカバケ川第2ダム改良後の状況と第1ダム改良に向けて行った河床変動シミュレーション結果、イフウベツ川中流に位置する2つのダムの改良案、ルシャ川河床路の状況についての説明が行われ、意見が交わされました。



▲ルシャ川ダムの現状



▲ルシャ川第1ダム前提の一部切下げと巨石組み

10月18～19日に現地検討会が行われました！



ルシャ川では、切下げたダムについての説明が行われました。

サシルイ川第1ダムでは、既設魚道の改良案について意見が交わされました。



オッカバケ川第2ダムでは、切下げ後の基礎部の段差を解消する方法について意見が交わされました。



河川工作物の改良効果を再度検証しました！

平成18年から平成24年にかけて改良が行われた5河川13基の第1次改良ダムは、平成25年に、「河川工作物ワーキンググループ（座長：中村太士北海道大学教授）」によってその改良効果の検証が行われ、サケ科魚類を遡上させる機能を概ね発揮していると評価されました。

前回の検証から約5年が経過したことから、「河川工作物改良効果検証ワーキングチーム（座長：中村太士北海道大学教授）」を設置し、令和元年～2年にかけて計5回の検討会を行い、改良効果等が持続的に発揮されているかの検証を行いました。

報告書では、防災機能並びにサケの遡上は概ね維持されているが、一部の魚道で落差拡大傾向が見られるなど今後取り組むべき課題も残されているとの検証がなされました。また、河川生態系の連続性を再生するため知床で行った改良工事は、様々な知識と経験の集積であり、これは知床のみならず日本の河川に適用できる貴重な財産であるとまとめられています。

知床世界自然遺産地域内で改良した河川工作物の評価 【令和2（2020）年度版】



令和3（2021）年3月
河川工作物改良効果検証ワーキングチーム



▲河川工作物改良効果検証WT報告書

会議の内容をもっと知りたい方はコチラ

知床データセンター
<http://dc.shiretoko-whc.com/>

■ 問合せ先 ■

北海道森林管理局 知床森林生態系保全センター
〒099-4355
斜里町ウトロ東番外地（国設知床野営場内）
TEL：0152-24-3466
FAX：0152-24-3477

■ 発行：林野庁北海道森林管理局
■ 制作：株式会社 森林環境リアライズ
発行日：2021年 11月28日

